

## 二本松市教育委員会会議録

平成30年12月27日午後4時00分二本松市教育委員会定例会議を二本松市役所教育委員会室に招集した。

○会議に出席した委員は次のとおりである。

|          |         |
|----------|---------|
| 教 育 長    | 丹 野 学   |
| 教育長職務代理者 | 佐 藤 英 之 |
| 教 育 委 員  | 奥 平 紀 文 |
| 教 育 委 員  | 柘 智 美   |
| 教 育 委 員  | 関 奈 央 子 |

○会議に説明のため出席した職員は次のとおりである。

|         |         |
|---------|---------|
| 教 育 部 長 | 市 川 博 夫 |
| 教育総務課長  | 石 井 栄 作 |
| 学校教育課長  | 原 田 真 一 |
| 生涯学習課長  | 服 部 憲 夫 |
| 文化課長    | 塩 田 英 勝 |

○教育長（丹野） それでは、ただいまから平成30年二本松市教育委員会12月定例会を開会いたします。

（宣言 午後4時00分）

○教育長（丹野） これより会議に入ります。

委員の出席状況を報告します。

現在の出席者は、5名であります。会議の定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしました。

次に、「2 会議日程の決定」ですが、会議が終了するまでといたします。

続きまして「3 会議録署名人の決定」ですが、奥平紀文委員、柘智美委員の2名を指名いたします。

「4 前回会議録朗読承認」ですが、事務局よりお願いします。

（事務局より、平成30年11月22日の会議録を朗読）

○教育長（丹野） ただ今事務局より朗読がありましたが、これについて皆様からご質問等ありますか。

（質問なし）

○教育長（丹野） それでは、ただ今の会議録については、承認することよろしいですか。

（異議なし）

○教育長（丹野） ただ今の会議録については、承認されました。

次に、「5 教育長報告」に入ります。まずひとつめの、「1 市議会12月定例会について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 2点目の件ですが、12月議会におきまして、三保恵一市長より関奈央子委員の再任の人事案件が上程され、満場一致で同意をいただいたというところがございます。この件についてはよろしいでしょうか。続きまして、この中で何かご質問等ございましたら。

○教育長職務代理者(佐藤) 三中のところの下り坂、上り坂のところですが、昔からそうなんですけども、事故のないように、特に冬場にかけて一声かけてもらえればいいかなと思いますので、よろしくお願いします。

○教育長(丹野) 学校教育課関係で、小野利美議員からいじめ、不登校についての現状のお質しがございました。本市でいじめ、不登校の調査をいたしました。特に不登校については30日以上ということで、すぐにはっきり分かるんですが、いじめというのはなかなか分かりにくいものがあって、本市の場合は、調査の結果、小学校2校がいじめゼロというふうな報告がございました。ただ、そのあと、NHKの報道によると、文部科学省でゼロ件というところについては再度調査ということで、実際に福島県は行っておりません。ただ、私のほうとしてはやはりゼロ件ということについて、再度調査ということによって意識を高めていきたいということで、1月以降、関係する2校については、再度調査をしたいというふうに考えております。それから、斎藤広二議員の猛暑日の件ですが、確かに今年猛暑日は5日間だったんですが、34.8度とか7度が結構多くありましたので、猛暑日っていうのは35度以上ということ限定して5日ということですが、運動関係の場合は31度以上は控えるというふうな状況になってますので、31度以上になりますとかなりの多くの日数になったということも付け加えさせていただきます。もしなければ次に行きますがよろしいでしょうか。それでは2番目、「2 市議会1月臨時会について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) これについてもよろしいですね。それでは続いて3番目、「3 平成30年度学校訪問の結果について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 今学校教育課長から報告をさせていただきましたのは、二本松市教育委員会の指導職員が少ないものですから、県の教育委員会のほうに学校訪問を要請して行った部分の結果というふうにご承知おきをいただければと思います。これから発展してでも結構なんですけど、今年忙しい中、分担しながら各学校に行って授業等を見ていただいたわけですが、ここで皆さんの感想な

りご意見を賜ればと思います。

○教育長職務代理者（佐藤） 私が行った学校で、その学校の特色というのは私なりにイメージを持って見に行ってたんですが、掲示物とかそういうものを見ると、伝統的にこの学校で力を入れてるんだなというようなことが感じられたのは非常によかったなというふうに思いました。それからICTの活用ということでは、積極的に多く使われておりましたし、各先生方がめあてをきちっと書いて、それからまとめも自分の言葉でまとめさせるという活動が多く見られたので、これは効果があるんだろうというふうに思いました。ただ、学習形態については非常に難しいんですが、グループ学習もいいんですが、そこに時間を掛けすぎると、上の子は教えてはいるんですけども、割とぱっと分かった子は時間を持て余しているの、そこらへんをうまく時間配分すればいいのかなという感じを持ちました。あと、授業の中で気が付いた児童、生徒の間関係ですけれども、小学校でも割と手をかけなきゃならない子どもを隣の子がよく面倒を見てるなというのが印象に残りました。ノートをとってても、そこは次のところに入ったから聞いたほうがいいよとかっていう声掛けが結構あったりして、そういうようなものを育てていければいいのかなというふうに思いました。全体的には本当に落ち着いて、心配した面も、どうなのかなと思って見たところも、私の目にはいい授業をしてるなというふうに感じました。

○教育委員（柘） 私は3校行かせていただいて、中学校は安達中学校に行かせていただきました。安達中は、ちょっと前はいろいろ問題があったりとかして、卒業式とかに行ってもちょっとやんちゃそうな子がいたりとか、金髪が見えたりとかしたのが、だいぶ全然雰囲気が変わっていて、落ち着いた感じの学校になったなと思いました。ただ、今度は静かすぎて、あまりにもお利口さんな感じで、逆に活気がないという感じで、平和なのが一番なんだけど、もうちょっと活気があってもいいのかななんて思いながら帰ってきました。あと、小学校は、新殿小と北小に行かせていただいて、両方とも学校訪問で行った学校だったので、重なってしまっって申し訳なかったなっって思ったんですけど、新殿小は初めて行かせていただきまして、小規模校で人数が少ないんだけど、いい感じの雰囲気で授業されてるなというのは感じました。図書室も見させていただいて、すごく工夫して子どもたちが本を手に取りやすいとか、興味を持つような配置とか工夫されてたので、利用状況はどうなんですかって先生にお伺いしたら、どっちかという外遊びとか体を動かすほうとかが重点的で、頻繁には利用されてないような話をされてたので、ちょっともったいないかなと思っ、もうちょっと利用する機会とかをうまく作れたらいいのになと思いました。北小は、ちょうど午前中に持久走をやっている、短縮授業だったのを知らずに伺ったので、見させていただく時間が短くなってしまったんですけども、北小

は1学年に2クラスとか、新殿と比べたら大きいですよ。それで、同じ道徳の教科を同じ学年で同じ時間にやってるのとかを見させていただいたら、同じことをやっているのにクラスによって雰囲気違ってて、同じことをやってるのにやりかたによってこんなに違ってしまふんだというのがある意味新鮮という感じを受けました。あと、ちょうど放射線の授業を受けているのを見させていただいて、初めて放射線関係の授業を見たので、やっぱりあれ以来続いているのが今の子どもたちにもこうやって知識を持ってもらえるのは大事だよなと思いました。あと、ICTというのを、電子黒板とか、そういうのを使って授業をされていたんですけども、こうやると効果的なんだなというのが直接伝わってこなくて、これだったら使わなくてもできるのかなと思いました。

○教育委員（関） 私は川崎小学校を見させていただいたんですけども、フリー参観の日だったので、自然な感じで1人2人父兄の方がいらっしゃる中、割と気楽な感じで見させていただけたのが良かったと思います。見学させていただく前に、校長先生から気になる児童についてなどいろいろ情報をいただいて、大丈夫かなと思って見た面もあるんですけども、私が見た感じでは、問題がある児童がいるクラスでもまとまりがあるというか、とてもいい感じで授業をされていました。川崎小学校は20人弱のクラスがほとんどで、もっと少ないクラスもあって、授業がまとまりやすいとは思っていたんですけども、やはりそんな中でも先生が話していることに理解ができなくて、隣の子に何言ってるかまったく分からないというメモを送っていたのが見えたので、やっぱり人数が少なくてもこういうふうになってしまうのかなと思ったりもしました。あとは、教室の後ろに自主学習ノートが置かれていて、自由に見られるようになっていたんですけども、見させていただいたら、その子その子でいろいろ工夫してやっていて、丁寧に細かく区切ってやっている子もいれば、大きい字でスペースをいっぱい空けて書いている子もいて、いろいろではあるんですが、一生懸命自主学習ノートをやっているなという印象は受けました。やっぱりクラスの雰囲気は先生によって違うなっていうのは分かりまして、掲示物ですとか、教室内の学級文庫の本の整理整頓の様子ですとか、そういうのがクラスによって違うので、やっぱりクラスごとの違いは先生によってあるのかなというふうに思いました。すごく勉強させていただいたと思います。

○教育委員（奥平） 私は東和のほうを見させていただいた記憶を今辿っていたんですけども、行ったときの漠然としたイメージで、低学年の子どもたちは無邪気で明るく笑いながらみたいな楽しそうなイメージを今思い出していました。高学年になってくると、やっぱり大人が見てるから若干緊張してるのかなというイメージを持ちました。そして先生たちは、やっぱり普段と同じ姿をみせるべきだと考えている方と、普段と違うことをやってみようという、やっぱり参

観日というのは特別な日だと思うんです。先生たちも見られているところで、いつもと同じ姿を見せるのは嬉しいんですけども、先生たちからすれば逆にこんなこともできますというアピールのチャンスなのかなとも考えました。電子黒板とかも、私が行ったときはすごく使ってるというイメージはないんですけども、各学級に大型モニターがいつでも使えるように配置されたりするのを見ると普段どのように使ってるのかなという疑問も持ちましたし、逆にそういう特別な日だからこそ、そういうのをフルに活用した授業も見てみたいなというふうに正直思いました。やっぱり予算がかかっている部分で、使わないで眠らせてるのはすごくもったいないことだと思うし、先生のスキルによってもそれを使いこなせるかどうかというのは正直分かれると思うんですが、あえて我々が見に行ったとき、例えばフリーで見学する時間があるとしたら、普段と変わらない授業を極力やる日と、そういうのをフルに活用して、こんなのもできますというアピールしてもらおう日であってもちよっとはいいのかなというふうに、欲張った考えかもしれないですけども思いました。でも、総合的に見るとみんな真面目に勉強に取り組んでる姿はいつ行ってもいいなというふうに思って、行くたびに懐かしさとか、いろんな感情が巡るので、楽しかったなというふうに思い出しております。

- 教育長(丹野)** 委員の4名の方から感想等についてお話をいただきましたが、折角の機会、ほかの方の話聞いてこういうことも思ったなとかということが特にあれば。
- 教育長職務代理者(佐藤)** 私ひとつだけ思ったのは、いろんな外部の講師とかの先生も入ってきているわけですが、保護者もいっぱいいるので、ちょうど授業参観の時に工作の授業だったんですが、大工さんがいらっしゃったんですよ。それで、例えば釘を打ちつけるときに、この釘ではだめだよと言って、なんでって子供たちが言ってるのを見たんですが、この釘ではこれしか入らないからすぐ取れちゃうでしょと言ったら、ああそうかと言ったりしてやってるのを見ると、いろんな場面でしょっちゅう使えるわけではありませんけども、保護者とか地域の人をうまく使ってやっていけばずいぶん違うんだろなという感じは持ちました。
- 教育長(丹野)** いつの間にか一番の目玉になりつつあるんですが、社会に開かれた学校というキーワードが。それが今佐藤先生がおっしゃった地域人材をどう学校の中で関わりを持っていくかっていうのも一つの大きなポイントなのかなということなんですけど、学校教育課長、今の件について何かご意見等あれば。
- 学校教育課長(原田)** いろいろご意見頂戴しまして本当にありがとうございました。ICTの活用につきましては、今お話がありましたように本当にそれ

を使うことが子どもたちの理解に役立つというふうなことが何よりも大事だと思えますので、今後、積極的に電子黒板等が活用できるような条件整備とともに、教職員に対する研修なども行っていきながら、効果的なICTの活用というふうなことについて教育委員会としても指導してまいりたいというふうに考えております。また、授業参観していただきまして感じられたような学校での雰囲気とか、または学級に入ったときのクラスの雰囲気とかの違い、それがもしかすると子どもたちの学力の定着度の違いというふうなところにも繋がっているところっていうのはあるのではないかなというふうにも考えられると思えますので、その点というのは、各学校のほうで互見授業といって互いに授業の様子を見あうということを積極的に進めておりますので、自分のクラスにはない良さというふうなものもほかの先生の授業を見ながら感じ、そしてそれを自分の指導の中に取り入れていく、またそれを校長、教頭が中心となってそのような意識を高めていってあげるというふうなことが何よりこれから必要になってくるのかなというふうなことを感じて聞いておりました。さらには、今お話いただいたような地域とも連携しながら保護者とか地域の方々を授業の中で積極的にご指導いただいたり逆に地域に子どもたちが出て行くというふうな活動、そういうふうなものも今後ますます新しい学習指導要領になって取り入れる必要がございますので、その点についても、今後の教育課程編成会議などの中で各学校を指導してまいりたいというふうに感じておりました。

○教育長（丹野） 3番目についてこれでよろしいでしょうか。それでは続いて4番目に入ります。「4 平成30年度二本松市障がい児就学指導委員会審議結果について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） もう既にご存知のことと思うんですが、13人が特別支援学校適であるんですけども、安達地区にまだ県立の特別支援学校が設置されていないというふうな状況から、在籍する学校に学校適でありながら学級に入らざるを得ないお子さんがいらっしゃるわけです。それを考えますと、他の市町村と比べて、本市が介助員を多く入れざるを得ないという状況はご理解いただけるかなというふうに思います。これはよろしいでしょうか。

○教育長職務代理者（佐藤） 審議人数の206というのは、全体のパーセントからいうとどのくらいになるか分かりますか。

○学校教育課長（原田） 小学校、中学校、児童生徒合わせまして、小学校3千、中学校がその半分ですから千5百、4千5百というふうな単純計算でそのうちの206名というふうなことになります。

○教育長職務代理者（佐藤） 分かりました。

○教育長（丹野） なお、今佐藤先生がお聞きになっているのは、特別の支援を必

要とする子どもが何パーセントいるかっていうことだと思うんですが、これはあくまで今回の事案ですので、もう既に学校、学級、通級に入っているお子さんも混ぜて、再度調べてですね、次回の教育委員会でお知らせはできますね。

○学校教育課長（原田） できます。

○教育長（丹野） その時まで勘弁してください。続いて5番目に入ります。「5平成31年度任期付職員（短時間勤務指導主事）の採用について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 何かご質問ございますか。よろしいですか。それでは続きまして6番目に入ります。「6 第7回二本松市一周駅伝競走大会の結果について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 報告ですので次に進ませていただきます。7番目、「7 平成31年成人式について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 成人証書も今まで市長と教育長名で出してましたが、他市町村を見ましても2人の名前が入ってるところはほとんどなくて、市長名でいいでしょうと。実は教育委員長が教育長に変わったからというものもあるんですけど、わざわざ教育長もしゃべって必要ないなって私が言ったわけなんですけど、これでよろしければ、これで通させていただきたいということです。よろしいでしょうか。続いて8番目、「8 「中村雅俊コンサートツアー2018」の開催結果について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） よろしいですね。続いて9番目に入ります。「9 朝河貫一博士顕彰講演会の開催結果について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 以上報告が終わりました。次に、10番目に入ります。「10 その他」、表彰関係について、事務局からお願いします。

（奥平紀文教育委員及び小泉裕明前教育長の市政功労者表彰受賞について事務局より説明）

○教育長（丹野） では、皆さんと一緒に拍手でお祝いしたいと思います。奥平委員一言お願いします。

○教育委員（奥平） 長くやってきていろんなことを教えていただいたことを思い出しております。でも、私が何かをできるかと自問自答したときに、自信をもって私はこれをしましたというのがまだないので、残り時間の中で少しでも自分が自信をもって、私はこれを見てきた、これを経験したと言えるように努

めたいと思っております。ありがとうございます。

○教育長（丹野） おめでとうございます。それでは次に「6 協議事項」に入  
ってまいります。

はじめに、「1 次期教育委員会の開催日程について」を議題といたします。  
事務局の説明を求めます。

（事務局説明）

○教育長（丹野） よろしいですか。それでは続きまして2番目、「2 今後の日  
程について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

（事務局説明）

○教育長（丹野） お忙しいとは思いますが、できる限りご出席をいただ  
ければということで、よろしくお願ひします。それでは3の、「3 その他」を  
議題といたします。

○教育長（丹野） 事務局から、その他ありますか。

（なし）

委員の皆様からは、何かございますか。

（なし）

○教育長（丹野） ないようでしたら、以上で協議事項を終わります。

以上で、定例会の日程は、全部終了いたしました。

これをもちまして、平成30年二本松市教育委員会12月定例会を閉会いた  
します。ありがとうございました。

（宣言 午後5時9分）